

企業訪問 資源循環レポート

大和エンタープライズ（株）

循環型社会を

次世代の担い手へ

大和エンタープライズ株式会社



大和エンタープライズ株式会社

■代表者／代表取締役 南村 朋幸

■所在地／愛知県丹羽郡大口町中小口4-66-1

TEL 0587-95-0810 FAX 0587-95-0817

昭和47年江南市にて全ての始まりである「江南サービス」を創業。昭和48年「大和クリーンサービス」と商号を改め、翌年、岩倉市、扶桑町、大口町の一般廃棄物処理業許可取得。以降、愛知県、岐阜県、三重県における産業廃棄物収集運搬業の許可を取得。平成6年大和エンタープライズ株式会社に法人組織化、同年愛知県収集運搬業（積替え、保管）許可取得。

その後、江南市島宮町にリサイクル工場、平成10年愛知県産業廃棄物中間処理業許可取得、丹羽郡扶桑町にマテリアルステーションを新設、社業の基礎を成す施設の増設に注力し、平成23年剪定枝処理施設 Re'Green Park 中小口工場、ニツ屋工場を新設、大口町有機資源保管許可取得、剪定枝の一般受入を開始される等、環境問題最前線の企業として循環型社会構築に向けてご活躍の大和エンタープライズ株式会社代表取締役 南村朋幸氏にお話を伺いました。



大和エンタープライズ（株）
代表取締役 南村朋幸氏

■継続の源

創業約半世紀を間近に控え、捨てる時代からリサイクルする時代へと変遷する中、業務の拡大と共に施設の充実を図り、循環型社会を構築し、次の時代を生きる者たちへその社会を遺すことを使命として日々事業に邁進。しかし企業の発展とは技術開発のみではなく、現場を支える多くの社員の力によって成されるものである、と南村氏は語る。

■教育の力

以前の3Kと呼ばれた業界を払拭するかのよう
に、職場環境の良い企業でなければ環境問題は解決
できないという南村氏からのメッセージ通り、職場



40周年謝恩会



社員総会の表彰者



安全衛生大会



地元中学生の体験学習



地域の清掃活動



大和倶楽部(部活動)



石上げ祭



大口ふれあい祭りにてたい肥を配布

の環境づくりを最優先に運営。

業務に直結した講習会(安全衛生講習会、安全運転講習会、マニフェスト講習会等)、社内の組織づくり(社員総会、安全衛生大会等)、社会貢献(近隣の清掃活動、地域行事への参加)、環境教育(地元の中学生・小学生への体験学習)を積極的に開催しています。社員の能力が高まることで環境への意識が向上し、誰よりも最前線で資源循環に関わる者としての責任感が芽生えます。その姿勢は全社員に浸透し、延いては当業界の社会的評価を上げることにつながります。

■時の共有

もう一つ誇れる取り組みは社内行事です。

長年恒例となった「石上げ祭」では、願いを込めて運ばれた大きな石を上げ終えたとき、一丸となって成し得た清々しさと感謝の気持ちを全員で共有することができます。

他には部活動として野球チーム「大和倶楽部」があり、社会人の対抗試合の開催時は、皆で応援に出かけます。季節毎に社員旅行、バーベキューパーティーやボリング大会等を開催し、社員間の深いつながりはそのような時に育まれています。

★インタビュー：仕事へのやりがいを伺いました★

社会貢献度が高く、育児と両立できる職場を求職中、弊社の求人が目に止まり応募しました。

現在、初心者マークを付けての就業ですが、お客様との対応から多くのことを学ばせていただき、業務のスキル、会話力を日々培っています。



総務課 石田まりあ氏

また、福利厚生が充実しており子育て中であっても無理なく働くことができます。

循環型社会の構築を担う最前線に身を置くことに誇りに感じており、専門知識の習得、リサイクルを通じて社会貢献への意識を高めていくことに仕事へのやりがいを感じます。

私たちの使命でもある「美しい地球を守る」とは、廃棄物を捨てることなくリサイクルする、サステナブルな時代を創る、その一番の担い手は私たちの業界ではないかと自負しております。

弊社では令和2年4月よりSDGsを行動指針に掲げ、次世代に向けての開発目標を定め、全員の取り組みが進められております。

2030年、弊社がどのような成長を遂げているのかご期待ください！
(南村氏談)

Re' Green Project 公共緑地帯リサイクル事業

様々な緑地帯から排出された枝葉・雑草は剪定枝と呼ばれ、リサイクルされるにはコスト面では不完全であり、ほぼ焼却処分されていました。

「リ・グリーンプロジェクト」は、近年各自治体で進められている街の緑化運動を側面から支援する事業としてスタート。廃棄する剪定枝を当社独自の技術開発と提携先のコラボレーションにより、品質重視の堆肥化が可能となりローコストな地域緑地帯の循環の輪を構築することができました。「リ・グリーンプロジェクト」により、市町での持続可能な緑化政策や地産地消型緑化リサイクルに一步近づいたと言えます。

